

「家族や地域とのつながり」

栗原市立志波姫中学校3年

鈴木 七海さん

新聞やテレビで、高齢者を狙った「オレオレ詐欺」のニュースが多く目につく。金融機関の人が気付いて声かけをしたおかげで未然に防げたものもあるが、大切に貯めたお金を取られてしまった、というものも多い。

私の祖父母にも、そうした電話がかかってきたそうだ。電話を受けた祖母に、父の名を名乗り、「風邪をひいてしまった。今、とても大変な状態で、お金が必要だから、お金を貸してほしい。」と言ったという。どうしたら良いかと思った祖母が、近くにいた祖父に相談したところ、内容を怪しんだ祖父が、電話を替わった。すると、祖父が「風邪をひいたなら、早く病院に行け。」と言ったとたん、電話は切られてしまったそうだ。

その話を祖父母から聞いたとき、なぜ電話番号や、そして父の名まで知っているのだろうかと思ひに思ったが、犯人グループは、個人情報に記載された電話帳や学校の卒業生名簿などを事前に入手しているそうだ。このことを知り、私は、オレオレ詐欺をはじめとする「特殊詐欺」というものは、決して他人事ではないのだと思った。もしかしたら私や私の家族の個人情報も知られているかもしれないと思うと、とても怖くなった。

オレオレ詐欺のような事件が起きる原因には、核家族化が進み、コミュニケーションが不足していることもあるのではないだろうか。高齢者は、離れている家族が心配で、「役に立ちたい」「少しでも力になりたい」という気持ちがとても強い。犯人グループは、そんなお年寄りの家族を思う気持ちを利用し、お金をだまし取ろうとしているのだ。

そう考えると、このような被害を未然に防ぐためにまず大切なのは、家族が連絡を取り合うことではないだろうか。離れて暮らす家族へのお年寄りの心配を和らげるためにも、今、どのようなことをして日々を過ごしているかを伝えることが必要だ。それによって、電話の内容が本当かどうかを判断できると思うからだ。

また、そうした特殊詐欺がどのようなものなのかを、一人ひとりが理解することも重要だと思う。そのためには、地域で注意を促すような連絡をしたり、声かけをしたりすることが重要だ。更に、もしそのような電話でお金の話が出たら、必ず誰かに話すことだと思う。警察や家族、身近な人に相談することで、気持ちも落ち着き、電話の内容について冷静に考えることができるからだ。

これらの対策を考えると、共通して言えることは、コミュニケーションが大切ということだ。日頃から、家族や地域でのつながりを大切にすることが、特殊詐欺被害の予防につながるのではないだろうか。

怖い思いや悲しい思いをする人がいなくなるように、みんなが安心して楽しく暮らせる社会を、みんなで作っていききたいと思う。